5月の寄贈品コーナー

加藤あき植物観察画展 期間2006年５月３日（水）～６月４日（日）

加藤あきさんは、大正２年静岡県にお生まれになり、93 歳になられた今もお元気で山北町に住まわれています。小学校の教壇に立たれて後、昭和 40 年から身近な草木の写生を始められ、1000 種類、2000 種類と描き続けていかれました。その素朴でおおらかな画風と、正確な観察は専門家の注目するところとなり、『花が好き人が好き』(1984 年講談社)、『花との出あい』(1985 年講談社)、『花がともだち連れてきた』（1989 年大和書房）の３冊の本を出版されました。書名からも伺えるように、加藤さんのまわりには花好きな人の訪れが絶えず、その人柄は多くの方に愛されてきました。

このたび、ご縁があって、描き続けてこられた作品 3115 点を一括して平塚市博物館に寄贈していただくことになりました。博物館では、これらの作品を末永く保存するとともに、植物観察の参考資料として活用させていただきたいと考えています。

加藤さんの絵は、花の雰囲気を写すというだけでなく、花のつくりや、根まで含めた植物の全形をきめ細かく観察して描かれている点に大きな特色があります。植物観察画と名づけた由縁ですが、観察の目を深めていくためのスケッチとして、お手本としたい絵だと思います。